

【第14期の活動実績】

	活動	日時	場所・内容
第14期	第52回WG	令和5年6月5日（月）	場所：豊橋市役所 東館8階(東83会議室) 内容：豊川および矢作川の自然再生事業について 土砂に関する技術紹介について 市民部会発の勉強会（バスツアー）について
	第53回WG	令和5年12月12日（火）	場所：西尾市中央ふれあいセンター 視聴覚室 内容：矢作ダム堆砂土砂の分級工法について 流域圏担い手づくり事例集について
	第15回海部会 まとめの会	令和6年1月17日（水）	場所：西尾市中央ふれあいセンター 視聴覚室 内容：今年度の振り返りと次年度の目標 流域圏担い手づくり事例集について
	第54回WG 事例集交流会	令和6年7月6日（土） ～7日（日）	場所：鳥羽市立海の博物館、答志島 内容：流域圏担い手づくり事例集交流会2024 答志島エクスカーション
	第55回WG	令和6年9月11日（水）	場所：西尾市中央ふれあいセンター 視聴覚室 内容：伊勢・三河湾の貧栄養化について ダム砂の分級技術の開発と試験水の栄養 塩濃度の分析
	第16回海部会 まとめの会	令和6年10月24日（木）	場所：西尾市中央ふれあいセンター 多目的ホール 内容：第14期の振り返りと第15期の目標
第15期	市民部会・ 海部会合同WG	令和7年2月13日（木）	場所：西尾市 中央ふれあいセンター 視聴覚室 内容：第15期の活動目標について 第5回公開講座の振り返りについて 豊かな海の回復に向けた取組について 市民部会・海部会の合同イベントについて

【第15期の活動目標】

「豊かな海」や「海と人との絆」の再生に向けた様々な取り組みについて情報共有・意見交換を行うとともに、流域圏全体に関わるごみ問題や土砂の問題についても、今後外部に発信していくことを念頭において、他部会や外部団体との連携をはかる。

<テーマ>

<目標>

豊かな海の再生に 向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海の栄養塩不足に関する対策に関する（干潟・浅場造成や浄化センターでの試験運用など）の情報共有および意見交換を行う。 ○ アサリやリをはじめとする三河湾の生物資源回復に向けた具体的な取り組みに関する意見交換を行う。 ○ 伊勢湾・三河湾の環境改善に取り組む種々の団体との交流・情報交換を積極的に行う。
海と人との絆再生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般市民に海の現状や課題を正しく伝えるために、市民部会とも連携して市民が参加しやすいイベントを開催する。 ○ 海と陸域との関係性の理解を深めるため、他部会との連携を一層進めるとともに、海部会への参加者を増やす。 ○ 三河湾大感謝祭などの地域イベントを通じて海と人との絆の重要性を啓発する。
ごみの問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三河湾だけでなく、より広い範囲でごみ問題に関わる活動との連携を継続していく。 ○ 岐阜・愛知・三重の海洋ごみに対する検討状況について情報共有するとともに、矢作川流域圏のごみ問題に関する状況等の情報交換を行う。
土砂の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 河川の治水事業や干潟・浅場造成事業の状況を把握するとともに、他部会との情報共有および意見交換を行う。 ○ 出水に伴う土砂流出についても情報共有し、総合的な土砂問題に関する公開講座について検討を始める。

矢作川流域圏懇談会通信

R7 流域連携 vol. 1



発行日：令和 7年 5月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆循環フェス名古屋に参加しました！

矢作川流域圏懇談会は、矢作の恵みプロジェクトと共に矢作川流域圏懇談会の活動や矢作川流域の問題・恵みについてブースに立ち寄ってくださった方々に紹介しました。矢作川流域を飛び出し、名古屋を含む伊勢湾流域（伊勢湾流域の中には矢作川流域も含む）で情報発信することにより、伊勢湾流域の中心部の方々にも流域の問題・恵みを知っていただきました。



循環フェスでのブースの様子

日時：令和7年4月19日（土） 10:00～17:00
場所：エディオン久屋広場
主催：認定NPO法人 中部リサイクル運動市民の会

◆循環フェス名古屋の開催目的と矢作川流域圏懇談会・矢作の恵みプロジェクトの参加について

1. 循環フェス名古屋の開催目的

循環フェスは、名古屋市を中心に新しい「古着の循環」の仕組みをZ世代と共に広げるリユースの祭典。気軽にリユースやリサイクルに触れることができるワークショップや展示、トークショーなどのステージイベント、安心安全な食材で美味しいフードマルシェなど、参加者の皆さんが楽しみながら循環を知ることができる企画が詰まったイベントです。（循環フェス名古屋HPより）

2. 矢作川流域圏懇談会の参加

■矢作川流域圏懇談会の活動紹介

矢作川流域圏懇談会のこれまでの活動を紹介し、参加者に活動内容や意義を伝えました。

また、矢作川流域圏懇談会が作成している「矢作川流域圏懇談会10年誌」、「流域圏担い手づくり事例集V」、「森のひとをつなぐ」等の配布や、関係団体の資料を配布し、矢作川で起きている問題や恵みを情報発信しました。

3. 矢作の恵みプロジェクトの参加

■矢作の恵みの食品の販売

「矢作の恵みプロジェクト」は矢作川流域圏懇談会 市民部会 座長の鈴木建一氏を中心に2025年4月から発足したチームです。流域から受けている問題・恵みを、「食」を通じて知っていただくために活動しています。循環フェスでは矢作川流域圏懇談会と連携して矢作川の恵みで育った「塩おにぎり」、「しし汁」、「アイス」を販売しました。「塩おにぎり」は2024矢作川感謝祭で使用した「ミネアサヒ」に加えて、安城市の「水田貯留米」を使用しました。容器には環境に優しいバガス容器を提供していただきました。矢作川流域圏懇談会はこの活動を後援し、循環フェス名古屋では連携して水田貯留等の取組を情報発信しました。



当日に使用した「塩おにぎり」、「しし汁」POP

提供・使用した食材等		氏名・団体名	
調理		山里カフェMui	
材料	おにぎり	ミネアサヒ (提供)	山本薫久様 (市民部会副座長)
		水田貯留米	安城の農家さん
		青まぜ海苔	坂井海苔店
		饗庭塩	吉良屋
	しし汁	山里カフェMui	
	アイス	ペアツリーファーム	
バガス容器(提供)	株式会社折兼		

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 副所長 山路、係長 小池、技官 渡邊

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

矢作川流域圏懇談会通信

R6 流域連携 vol. 2



発行日：令和6年10月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆2024 矢作川感謝祭に参加しました！

矢作川流域圏懇談会は、新たな取り組みとして矢作川から様々な形で恩恵を受けていることを流域の皆様にご案内いただくことを目的に矢作川流域の恵みで育った塩、海苔、米を使用した「矢作川流域の恵みで作る究極のおにぎり」を作りました。

関係する団体（山里カフェ Mui、坂井海苔店、山善糟屋海苔店、ワイマーケット、吉良屋、ペアツリーファーム、フードフォーチルドレン愛知、東幡豆漁協（順不同））と協力し、矢作川流域の恵みを感じてもらいつつ、矢作川流域圏懇談会の活動を紹介しました。ほかにも「はぎぼう」グッズ（うちわ、メモ帳、ストラップ）を参加者の方々に配布し、矢作川感謝祭を盛り上げました。



矢作川感謝祭の様子

日時：令和6年9月22日（日） 10時～15時
場所：豊田市博物館

◆矢作川感謝祭の開催目的と矢作川流域圏懇談会の参加について

1. イベントの目的



矢作川流域の課題を今一度再認識するとともに、矢作川流域の自然の恩恵にあらためて感謝し、その実力と魅力を多くの人々に伝え、共感と行動へとつながることを目的とする。

（矢作川感謝祭HP「開催目的」より抜粋）

2. 矢作川流域圏懇談会の参加



■矢作川流域圏懇談会の活動紹介

矢作川流域圏懇談会のこれまでの活動を紹介し、参加者に活動内容や意義を伝えました。

■矢作川クイズと「はぎぼう」グッズの配布

矢作川流域クイズの正解者には「はぎぼう」のオリジナルグッズ（メモ帳、ストラップ）を配布しました。矢作川について市民の皆様楽しく知っていただく機会となりました。

■「矢作川流域の恵みで作る究極のおにぎり」を作成

矢作川流域の恵みで育った塩、海苔、米を使用したおにぎりを150セット限定で作成しました。海苔は6種類から選択できるようにして海苔の生産地、製法の違いなどを楽しんでいただきました。

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



当日に使用したおにぎりのPOP

提供していただいた食材等		氏名もしくは団体名	
調理		山里カフェMui	
材料	おにぎり	米（ミネアサヒ）	山本薫久様 （市民部会副座長）
		海苔（三河湾、知多、青まぜ）	坂井海苔店
		海苔（三河湾2種類、青まぜ）	山善糟屋海苔店
	塩（饗庭塩）	吉良屋	
	付け合わせ	椎茸	無門福祉会
	茄子	山里カフェMui	

■「はぎぼう」のうちわの無料配布

ブースに立ち寄ってくださった方に「はぎぼう」のうちわを配布しました。



山里カフェMui
Instagram



吉良屋
Instagram



山善糟屋海苔店
Instagram



坂井海苔店
Instagram



3. 矢作川流域圏懇談会 出展状況

■山里カフェ Mui

鳥獣被害が大きな問題となっている豊田市で猟師・ジビエカフェをやられており、駆除した動物を美味しくいただくことで命の大切さや山里の現状を皆さんに知っていただいています。

今回は鹿肉を使用したジビエソーセージを提供しました。

■ペアツリーファームカフェ

日本では10軒ほどしかない山地酪農を矢作川源流の長野県平谷村でされています。

国内でもわずか0.8%しかいないジャージー種の濃厚なミルクを使い、乳化剤・安定剤等の添加物や卵も加えず、ミルクを存分に楽しめるアイスクリームを提供しました。

■ワイマーケット

豊田市稲武地区で地域振興を目指す「農事組合法人大野瀬温」と協力して収穫した新鮮なホップを使用したビールを製造しています。

香りがよく上品な味わいのビールを提供しました。

■Foods for Children愛知

学校給食に安心安全でミネラル豊富な食材を取り入れることを目標に活動しています。

農家さんにご協力いただき、自然栽培の旬な野菜を提供しました。(スイカ、落花生、サツマイモ、ニンニク、オリジナルハーブティー等)

■東幡豆漁業協同組合

毎年大人気の三河湾で取れる魚と触れ合うタッチプールを今年も開催しました。子供たちも大喜びで大人気のブースとなりました。



山里カフェ Mui



ペアツリーファームカフェとワイマーケット



Foods for Children愛知



魚のタッチプールの様子



ペアツリーファームカフェ
Instagram



ワイマーケット
Instagram



Foods for Children愛知
Instagram

4. 矢作川感謝祭の開催風景



矢作川流域の今後を語る懇談会メンバーからパネラーとして丹羽氏、高橋氏、コーディネーターとして洲崎氏が登壇しました。



矢作川感謝祭の横断幕



たくさんの方で賑わっていました

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、係長 小池、技官 中野
TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。





発行日：令和6年10月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第11回三河湾大感謝祭に参加しました！

三河湾大感謝祭は、2024年度三河湾環境再生プロジェクト-よみがえれ！生きものの里”三河湾”-の取組として愛知県が主催するイベントです。スポーツSDGs体験会や水中ドローン操作体験会、海の自然観察会、家康鍋の無料試食、三河湾産アサリのつかみ取り等のイベントが行われました。

矢作川流域圏懇談会は坂井海苔店、山善糟谷海苔店、東幡豆漁協の石川組合長のご協力のもと、海苔の食べ比べや魚のパネル展示を実施しました。他にも矢作川流域圏懇談会の活動紹介や矢作川クイズ、「はぎぼう」グッズ（メモ帳、ストラップ）を矢作川クイズの参加者に配布し、三河湾大感謝祭を盛り上げました。



日時：令和6年10月6日（日） 10:00～16:00
場所：西浦温泉パームビーチ

◆イベントの目的と内容および矢作川流域圏懇談会の参加について

1. イベントの目的と内容



■目的（HPより抜粋）

多くの人々に三河湾に関心を持っていただき三河湾の環境再生に向けた機運を高めるため、10月に蒲郡市内で「第11回三河湾大感謝祭」を開催します。

■主なイベント内容

- ◇三河湾〇×クイズ
- ◇三河湾環境トークショー（さかな芸人ハットリ・ツケマイ23号）
- ◇パートナーシップ・クラブ会員PRタイム ご当地キャラクターグリーティング
- ◇キッズダンス
- ◇三河湾で遊ぼう！（スポーツSDGs体験会）
- ◇三河湾を見よう！（水中ドローン操作体験会）
- ◇三河湾を描こう！（インタラクティブアート体験）
- ◇三河湾を食べよう！（家康鍋の無料試食）
- ◇三河湾に触れよう！（海の自然観察会、三河湾生きものタッチプール、アサリの無料つかみ取り）

2. 矢作川流域圏懇談会の参加



■矢作川流域圏懇談会の活動紹介

矢作川流域圏懇談会のこれまでの活動を紹介し、参加者に活動内容や意義を伝えました。

■矢作川クイズと「はぎぼう」グッズの配布

矢作川流域クイズの正解者には「はぎぼう」のオリジナルグッズ（メモ帳、ストラップ）を配布しました。矢作川について市民の皆様楽しく知っていただく機会となりました。

■海苔の食べ比べ

産地の違う海苔や青まぜ海苔を食べ比べていただきました。三河湾内でも産地や製造方法により味、風味はまったく異なります。多くの方に三河湾の恵みを感じていただきました。また、水産資源の劣化や山から海までのつながりについても知っていただきました。参加してくださった方は「自分の住む地域に美味しい海苔があるなら継続して買いたい」、「海の問題を考えるきっかけになった」等の意見がありました。

■三河湾に生息する魚のパネル展示

三河湾に生息する魚をパネルに整理し、展示しました。

■「はぎぼう」のうちの無料配布

ブースに立ち寄ってくださった方に「はぎぼう」のうちの無料配布しました。



配布したはぎぼうのうちわ



3. 矢作川流域圏懇談会 出展状況

■坂井海苔店(HP : <https://sakainori.com>)

地域ごとの海苔をみなさまに食べ比べていただきました。

三河湾の海苔は全国シェアでは1割もありませんが変化に飛んだ環境が生み出す個性豊かな海苔が採れます。

三河湾は希少価値の高い青まぜ海苔を生産する地域として有名です。海苔は寒くなると成長しますが、青のりは寒くなると枯れてしまいます。そのため12月から1月という短い期間にしか採れない高級海苔です。

【使用した海苔】：三河湾、知多、三河湾（青まぜ）



@SAKAINORITEN

坂井海苔店インスタグラム

■山善糟谷海苔店(HP : <https://www.nori-yamazen.com>)

創業者は明治時代に海苔の採取に成功したことをきっかけに西三河地方の海に海苔養殖がたちまち広がっていきました。

今回は二番摘みの中でも上質な物をみなさまに食べていただきました。磯の香りが非常に強く、海苔の旨みと青の香りを楽しんでいただけます。

【使用した海苔】：三河湾（青まぜ）



@YAMAZENKASUYANORITEN

山善糟谷海苔店インスタグラム

■東幡豆漁業協同組合

(HP : <https://higashihazu-gk.wixsite.com/higashihazu>)

東幡豆漁業協同組合の石川組合長が自ら撮影した三河湾の生物の写真をパネルにして展示しました。三河湾の多様な生物を皆さんに知っていただきました。



三河湾（坂井海苔店）



知多（坂井海苔店）



三河湾（青まぜ）（坂井海苔店）



三河湾（青まぜ）（山善糟谷海苔店）

4. 当日の様子



海苔の食べ比べの様子①



流域圏懇談会の様子②



流域圏懇談会のブース

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、係長 小池、技官 中野

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

